

令和3年度

事業報告書



Nara Visitors Bureau

一般財団法人 奈良県ビジターズビューロー

目 次

令和3年度事業報告

世界水準のDMOを目指して

I インバウンド向け旅行商品の販売	1
1 外部専門人材の活用	
2 ファムトリップ実施・海外事業者との関係構築	
3 インバウンド旅行商品販売	
4 WEB 運用業務	
II 魅力ある観光地域づくり促進事業	2
1 国内旅行商品販売	
2 ネット商品販売	
3 旅行商品受託販売	
(1) 「うまし奈良めぐり実行委員会」事務局運営	
(2) 東大寺二月堂修二会（お水取り）セミナー	
4 奈良ファン倶楽部	
5 奈良大和路カレンダー	
6 アンテナショップ	
7 地域ネットワーク構築	
III 地域連携 DMO 推進事業	5
1 JR キャンペーン連携	
2 奈良県観光キャンペーン連携	
3 旅行商品等販売営業活動	
4 奈良県観光情報サイト管理運営	
5 商品企画支援	
6 全国広域観光振興支援	
7 観光インフォメーションセンター運営支援	
8 コンサルティング・受託業務	
9 各種行事への協賛	
10 猿沢イン旅行カウンターサービス	
IV MICE 誘致・開催支援事業	8
1 コンベンション開催誘致支援事業	
2 国際コンベンション運営事業	
3 コンベンション関連団体連携	
財務諸表（収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録）	10
監査報告書	21
役員名簿	22

世界水準のDMOをめざして

奈良県観光地域づくりの舵取りを担い、観光産業の振興と地域活性化を実現する組織として、旅行環境の変化に伴い多様化する訪日外国人ニーズを的確にとらえ、行き届いたサービスの提供はもちろん、奈良の魅力を自ら編纂し、県内各地への周遊促進に繋げ、地域の観光経済活性化に努めます。

旅行業界は新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受け、当財団の誘客活動も特にインバウンド市場において大きく制限されました。そのような時期ではありますが、今一度当財団のアクションプランを振り返り、来るべき with コロナの時代に対応すべく各事業の改善を図っている最中です。観光庁における「重点DMO」にも選定され、国の支援やアドバイスも受けやすくなった環境を追い風として、ますます地域の活性化に貢献できるよう努めてまいります。

1 インバウンド向け旅行商品の販売

1 外部専門人材の活用

予算額：4,152 千円

決算額：5,390 千円

富裕層顧客の取扱において知見を有する人材を活用し、富裕層対応が可能なガイドの育成、及び連携して富裕層対応を行う観光事業者間のネットワークを構築することで、高いレベルで統一されたサービスの受入体制を整備しました。

当財団の中核事業を、旅行事業、MICE・商社事業、受入環境整備の3つと置き、それぞれの事業に外部アドバイザーを起用し、知見を仰ぎながら当財団の中核事業の実施体制強化に努めました。

(外部アドバイザー)

旅行事業：高野雅臣氏（富裕層誘客）、ホワイ特美佳氏（海外旅行会社営業）

MICE・商社事業：村木 智裕氏（TXJ システムを活用したデジタルマーケティング）

受入環境整備：澤柳正子氏（観光地域づくり）、紀陸武史氏（移住定住促進）

2 ファムトリップ実施・海外事業者との関係構築

予算額：20,600 千円

決算額：15,161 千円

コロナウイルス終息後の早期インバウンド需要回復の為、欧米豪市場を中心に現地旅行会社への営業活動を行いました。現地への直接営業やファムトリップ等対面での関係構築をベースに計画しましたが、オンラインも活用しながら進めております。

上記専門家、ホワイ特美佳氏のネットワークを活用し、オーストラリア及びフランス市場への営業活動を展開しました。両市場のファムトリップも実施し、急速に回復が見込まれるインバウンド需要の誘致に向けて事業を進めました。

3 インバウンド旅行商品販売

予算額：4,000 千円

決算額：0 千円

コロナウイルス終息後を見越した、海外旅行会社及びランドオペレーター（※国内主要旅行会社含む）への営業、インバウンド向けの旅行商品造成・販売を継続し、誘客促進に繋げています。

定期的に電話やメールでの営業展開を続け、with コロナ、after コロナ期での市場のニーズ変化に応えるべく、既存商品のプラン内容についてもブラッシュアップを図りました。緊急事態宣言が解除された際は、対面営業を再開しより強固な関係構築に努めるとともに、富裕層市場にてアドバイス頂いている高野氏のネットワークを活用しながら、新規取引先の開拓に努めました。

4 WEB運用業務

予算額：6,600 千円

決算額：3,305 千円

オーダーメイドサイト及び予約サイトの検索順位を上昇させ、WEBサイトの認知度向上を図り、外国人観光客に対する情報環境の整備を実施しております。

情報発信から商品販売まで一連で行えるサイトへと改修を進め、効果的且つ効率的なWEBの運用となるよう、以下の方向性にてサイトの統廃合を進めました。

➤ 奈良体験.com（予約サイト）

TXJシステムと連携し、あをによしなら旅ネットへ統合の予定です。

➤ KANSAI NARA TREASURE TRAVEL（オーダーメイドサイト）

TXJシステムと連携し、より付加価値のあるツアーや体験プログラム販売サイトとしてリニューアルする予定です。

II 魅力ある観光地域づくり促進事業

1 国内旅行商品販売

予算額：4,000 千円

決算額：4,459 千円

直接営業やオンライン商談により、国内主要旅行会社等日本人向けの旅行商品造成・販売を強化し、更なる誘客促進に繋げました。

(1) 富裕層向け企画ツアー

2021年10月正倉院展の募集型旅行を企画・募集しましたが、コロナ感染拡大に伴い集客がふるわず、実施には至りませんでした。

取扱実績：0名

販売金額：0円

(2) 奈良県民限定いまなら。キャンペーン2021

（実施期間：2021年12月～2022年2月）

奈良県内の飲食と観光を組み合わせた日帰り周遊プラン、ゲストハウス等の小規模宿泊施設と飲食を組み合わせた宿泊プランなど、募集型企画旅行を造成・販売しました。

取扱実績：482 名

販売金額：4,906 千円

2 ネット商品販売

予算額：2,400 千円

決算額：2,008 千円

予約サイト機能をもつサイトに生まれ変わったあをによしなら旅ネット上にて、県内の社寺及び事業者が実施する奈良の特色を活かした魅力ある体験プログラムを数多く発信・販売することで、地域への活性化及び還元に繋がりました。

(1) 予約販売サイト「Nara Experience. com」(「奈良体験. com」)

◆令和3年度販売実績：454 千円

(2) 春日大社 参拝旅行企画

「春日大社 参拝旅行企画」の旅行会社への販売促進や手配・精算業務を請け負うことにより手数料を徴収しました。

設定期間：令和3年4月～令和4年3月

取扱実績：1,687 名

3 旅行商品受託販売

予算額：140 千円

決算額：0 千円

(1) 「うまし奈良めぐり実行委員会」事務局運営

奈良県でのオフ期の宿泊滞在を促進するため、夏季(うまし夏めぐり)と冬季(うまし冬めぐり)の2季を中心に観光キャンペーンを展開しました。当ビューローは「うまし奈良めぐり実行委員会」事務局を運営し、商品の企画・広報・販売・オペレーション・精算業務を行いました。

コロナ禍においての新しい旅行のスタイルである「オンラインツアー」企画なども実施、行動制限がかかる中でも奈良県の魅力を伝えることのできるツアーを展開し、after コロナ期における誘客のフックとすべく業務を展開しました。

◆令和3年度集客目標(当初)：9,800 名

①うまし夏めぐり 617 名

設定期間：令和3年6月～9月及び4,5月での特別設定

取扱旅行会社：パーソナル(個人型商品7社(※うちWEB系2社))

エスコート(添乗員付き商品)4社、直販(WEB・電話)

プロモーションの状況：首都圏・九州・関西・その他過去に取扱のあった

関係旅行会社へメール・電話による情報提供を実施

②うまし冬めぐり 1,347名

設定期間：令和3年12月～令和4年3月及び10,11月での特別設定

取扱旅行会社：パーソナル（個人型商品7社（※うちWEB系2社）

エスコート（添乗員付き商品）13社、直販（WEB・電話）

プロモーションの状況：首都圏・九州・関西・その他過去に取扱のあった

関係旅行会社へメール・電話による情報提供を実施

改善事項：体験型や食事付きプログラムの充実、奈良県のトピックスに関連したプログラムの造成、オンラインツアーの実施 等

（2）東大寺二月堂修二会（お水取り）セミナー

例年、奈良を代表する伝統行事の意義・歴史・行法を正しく伝えるセミナーを開催し、旅行会社及び地元宿泊施設の宿泊プラン等により販売を行うとともに、当ビューローが「東大寺二月堂修二会（お水取り）セミナー実行委員会」の事務局を運営し、商品の企画・販売・オペレーション・精算業務を行っています。

令和3年度はウィズコロナ、アフターコロナを踏まえ新たな事業展開を模索していましたが、令和元年度、令和2年度に引き続きコロナ禍の影響により開催を中止しました。

4 奈良ファン倶楽部

予算額：3,274千円

決算額：3,355千円

奈良のことを深く知りたい方のニーズに対応した「奈良ファン倶楽部」を運営し、会員向けの情報発信を行うとともに、テーマ性・ストーリー性のある会員向けの特別講座等を企画・実施しました。これらの企画の一部はあをによしなら旅ネット上でも販売し、潜在的な奈良ファンの発掘とリピーター化推進に取り組みました。

若年層の奈良ファンを増やすため、フェイスブックやインスタグラム等のSNSを活用し、魅力の発信にも努めるとともに、県内への宿泊を促すため、宿泊事業者と連携した取組を展開しているところです。

◆令和3年度会員数：1,016名

◆解説付き特別拝観：3回（参加者数：95名）※催行中止4回

◆奈良楽講座：1回（参加者数：15名）※催行中止3回

◆解説付き歴史ウォーク：0回（※新型コロナウイルスの影響で全企画催行中止）

5 奈良大和路カレンダー

予算額：6,428千円

決算額：7,007千円

県内の魅力溢れる仏像を、高精細な画質で紹介する「奈良大和路カレンダー2022」を制作し、首都圏や中京圏の書店でも販売を行い、観光PRに活用しました。

(平成8年度から制作・販売し、令和3年度は26作目。)

◆販売価格：税込2,000円(一般販売価格)

税込1,500円(奈良ファン倶楽部・ビューロー会員価格)

◆送料：1ヶ所につき500円

◆制作部数：5,600部

◆販売箇所：全国の書店、ミュージアムショップ、郵便振替のほか、TXJシステムによるオンライン販売での新顧客開拓にも取り組みました。

6 アンテナショップ

予算額：49,000千円

決算額：39,919千円

県が外国人向けの宿泊施設として運営する「奈良県外国人観光客交流館(奈良県猿沢イン)」において、県中南和をはじめとする県内全域の地場産品等を販売するアンテナショップ兼コンビニエンスストアを運営しています。外国人目線での取扱商品の開拓、地元事業者とのネットワークを活かした観光誘客キャンペーンやMICE会場での地場産品の販売に取り組み、地産地消を推進しました。

◆店舗名：ニューヤマザキデイリーストア奈良猿沢Deer店

◆場所：奈良市池之町1番地 奈良県猿沢イン内

◆商品例：レインボーラムネ、天川村きりこ、地酒・地ビール等

7 地域ネットワーク構築

予算額：12,000千円

決算額：0千円

(1) 実証事業での連携

国や市町村の実証事業等において、市町村や地域の事業者と一緒に地域の課題を洗い出し、その課題を解決しうる実証実験を行う中で、強固な地域ネットワークを構築しました。

【連携実績】桜井市、田原本町、葛城市

(詳細はⅢ-8 コンサルティング・受託事業参照。)

Ⅲ 地域連携DMO推進事業

1 JRキャンペーン連携

予算額：2,500千円

決算額：0千円

首都圏からのより効果的な誘客促進を図るため、首都圏でのPR効果の高いJR東海の「うまいうるわし奈良」キャンペーンと連動し、関連する県内主要社寺を中心に奈良の魅力ある歴史・文化等の観光資源を活用し、効果的な誘客促進に努めました。

2 奈良県観光キャンペーン連携

予算額：2,500 千円

決算額：0 千円

奈良県との連携を強化し、県が主体として実施する「奈良県観光キャンペーン」と連携した県内主要社寺及び各地域の魅力ある観光資源の PR 等を展開するとともに、より販売効果の高い着地型旅行商品の造成に努めました。

3 旅行商品等販売営業活動

予算額：4,600 千円

決算額：89 千円

国内外を問わず、地域活性化に向けて着地旅行商品や特産品等を販売していくために営業展開を行いました。

4 奈良県観光情報サイト管理運営

予算額：4,818 千円

決算額：4,822 千円

県公式サイト「あをによしなら旅ネット」を管理運営し、県内の社寺・市町村・交通事業者等から収集した観光情報を発信することで、観光客の利便性向上や情報収集満足度を高めるとともに、誘客促進に繋がりました。

本年より TXJ システムを搭載し、情報発信のみならず販売まで可能なサイトに生まれ変わりました。誘客促進のみならず、直接県内事業者様の経済活動に繋がるサイトになるべく、サイトの改良に努めております。

- ◆奈良県内の旬な観光情報やおすすめプラン、モデルコース等の掲載
- ◆「もっと奈良を楽しむ」Web 特集において旬な地元情報の発信
- ◆地域事業者の TXJ システムによるオンライン販売促進
- ◆うまし奈良めぐりが実施する企画の発信
- ◆奈良ファン倶楽部が実施する企画の発信
- ◆令和3年度 PV 数：12,518,242 ページビュー

5 商品企画支援

予算額：675 千円

決算額：668 千円

観光資源の発掘による旅行商品の企画造成やプロモーション活動、情報収集・発信によるオフ期の奈良への誘客に繋がりました。

6 全国広域観光振興支援

予算額：2,200 千円

決算額：2,200 千円

公益社団法人日本観光振興協会が実施する広域連携による観光振興（観光展の開催、観光資料の作成）、人材の育成等の事業に参画しました。

- ◆ツーリズムEXPO2021 大阪・関西への出展参画
- ◆観光ガイドマップ「ウェルカム関西」等への観光情報の提供
- ◆観光地域づくり・人材育成研修会等への参加

7 観光インフォメーションセンター運営支援

予算額：6,860 千円

決算額：7,068 千円

東大寺や夢風ひろば内において、外国人観光客等に観光案内業務を行う「奈良県観光インフォメーションセンター」を管理運営しています。今年度も新型コロナウイルス感染防止対策により5月～6月下旬、8月上旬～9月は案内所を閉鎖し、感染対策を徹底しながら業務を行いました。外国人観光客が見込めない状況が続くことから、国内外を問わず総合的な観光案内業務を実施し、旅行者の更なる利便性向上に努めました。

◆来館者数（夢風ひろばは外国人のみカウント、東大寺内は来館者数）

夢風ひろば 4月：93名、5月：休館、6月：23名、7月：88名、8月：10名、
9月：休館、10月：102名、11月：186名、12月：135名、
1月：60名、2月：39名、3月：120名

東大寺内 4月：2,207名、5月：休館、6月：1,688名、7月：6,509名、
8月：612名、9月：休館、10月：2,286名、11月：1,888名、
12月：1,723名、1月：1,066名、2月：727名、3月：1,657名

8 コンサルティング・受託業務

予算額：56,310 千円

決算額：42,489 千円

地域連携DMOとしてあらゆる観光産業に関する業務の企画・運営・アドバイスを
行うコンサルティング業務と、イベント及び市町村の観光案内所等の管理運営業務を
受託することにより、地域観光経済の活性化に繋げています。

(1) 受入環境整備

- ・ 橿原市観光交流センター指定管理業務（令和2年度から3年間）
- ・ 国の事業への応募にあたり、地域課題の洗い出し及び課題解決策の検討
（桜井市、葛城市、田原本町）
- ・ 国の事業遂行における民間企業との連携
（株）サンキュー観光（御所市への誘客および旅行会社への営業）
なつかしいみらいサービス（株）（宇陀市 ヘルスツーリズム商品造成アドバイス）

(2) 人材育成研修の実施

富裕層の受け入れが出来る人材の育成と、事業者間のネットワークの構築を目指し

て、岡本彰夫先生及び富裕層誘客の専門家である高野雅臣氏を講師とした地域人材育成セミナーを開催しています。ホテル従事者や通訳ガイド、伝統工芸の職人、シェフなど多種多様な分野から56名が参加し、本年は計15回のセミナーを開催しました。

9 各種行事への協賛

予算額：1,200 千円

決算額：1,243 千円

奈良県内への誘客促進を図る関連団体及び各種行催事への協賛、実行委員会等への参画により側面支援を行いました。

10 猿沢イン旅行カウンターサービス

予算額：444 千円

決算額：439 千円

奈良県猿沢イン内に旅行カウンターを設置し、外国人観光客に対して、県内旅行の手配業務及び各種交通チケットの販売等を行うとともに、体験プログラム等の提案を行いました。

IV MICE誘致・開催支援事業

1 コンベンション開催誘致支援事業

予算額：12,252 千円

決算額：3,157 千円

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で一部延期やオンラインでの開催となった案件もありましたが、新たな開催方式であるハイブリッド開催（リアルとオンラインを組み合わせた開催方式）が主流となり、誘致支援件数の増加に繋がりました。

また、県MICE推進室と連携し、商談会への参加や県内大学のキーパーソンへの訪問、視察の受入・打合せを行い、次年度以降の案件獲得及び情報収集に努めるとともに、ユニークベニューやテクニカルビジット等の受入先拡充を進めました。

2 国際コンベンション運営事業

予算額：9,820 千円

決算額：4,712 千円

経済効果の高い国際会議を中心とした誘致支援活動を展開していましたが、国際コンベンションは新型コロナウイルスの影響による渡航・入国制限のため、オンラインでの開催が多く、ハイブリッド方式で4件開催されました。延期案件については取りこぼしがないよう各関連事業者と連携し、延期日程の調整や会場の確保に努めました。

また、県MICE推進室と連携して次年度以降の国際コンベンション案件の情報収集並びに現地視察・打合せ等の受入を進めるとともに、アトラクション・エクスカーション等で活用できる体験プログラムの提案を積極的に展開し、今後のコンベンション誘致促進に努めました。

3 コンベンション関連団体連携

予算額：360 千円

決算額：361 千円

旅行会社と連携し、「新しい旅のかたち」を検証するため、事前のPCR検査や旅マエ・旅ナカ・旅アトの健康管理チェックまでを含む、「新」感染対策モニターツアーの支援を行いました。

【令和3年度誘致支援実績】

◆上半期（4～9月）：29件（国内：20件、国際：7件、スポーツ：2件）

◆下半期（10～3月）：38件（国内：27件、国際：6件、スポーツ：5件）

※うち24件がオンライン又は紙面開催

※令和3年度→令和4年度以降への延期件数：7件（国内：3件、国際：4件）

【MICEファミトリップ】

奈良県中南和から奈良市へ向かうルートで宿泊施設、食事場所、文化体験プログラム等を視察

実施日：令和4年2月14日（月）～16日（水）

招聘者：富裕層を取り扱う旅行会社・トラベルデザイナー 2名

令和3年度収支計算書
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	R3年度 予算	R3年度 決算	増減
I. 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
国庫補助金(観光庁)	34,552,000	12,953,110	△ 21,598,890
奈良県補助金(人件費)	93,019,000	90,460,129	△ 2,558,871
奈良県補助金(事業費)	26,471,000	17,370,245	△ 9,100,755
奈良県観光情報サイト管理運営	4,818,000	4,818,000	0
商品企画支援	675,000	668,350	△ 6,650
コンベンション開催誘致支援	12,252,000	3,157,895	△ 9,094,105
全国広域観光振興支援	2,200,000	2,200,000	0
観光インフォメーションセンター運営支援	6,526,000	6,526,000	0
奈良市負担金	20,120,000	15,072,704	△ 5,047,296
国際コンベンション開催助成金	5,040,000	0	△ 5,040,000
運営事業補助	14,720,000	14,712,704	△ 7,296
コンベンション関連団体との連携	360,000	360,000	0
商工会議所等補助金	556,000	606,000	50,000
会費収入	10,438,000	9,559,000	△ 879,000
基本財産運用収入	2,250,000	2,151,286	△ 98,714
受託事業売上	75,250,000	62,727,159	△ 12,522,841
猿沢イン旅行カウンターサービス	1,540,000	1,650,000	110,000
コンサルティング・受託事業	73,010,000	60,285,157	△ 12,724,843
旅行商品受託販売手数料	700,000	792,002	92,002
事業売上	75,192,000	52,036,169	△ 23,155,831
インバウンド旅行商品販売収入(オーダーメイド含む)	5,000,000	0	△ 5,000,000
国内旅行商品販売(オーダーメイド含む)	5,000,000	4,649,570	△ 350,430
ネット販売予約(体験プログラム)商品販売	3,000,000	2,610,150	△ 389,850
アンテナショップ販売収入	50,000,000	33,292,729	△ 16,707,271
コンベンション関連事業収入(エキスカーション等含む)	2,000,000	0	△ 2,000,000
奈良ファン倶楽部会費収入	3,764,000	2,970,200	△ 793,800
大和路カレンダー販売収入	6,428,000	8,513,520	2,085,520
その他	15,000	5,283,706	5,268,706
事業活動収入合計	337,863,000	268,219,508	△ 69,643,492

令和3年度収支計算書
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	R3年度 予算	R3年度 決算	増減
2. 事業活動支出			
インバウンド向け旅行商品の販売	35,352,000	23,856,500	△ 11,495,500
外部専門人材の活用	4,152,000	5,390,000	1,238,000
ファムトリップ実施・海外事業者との関係構築	20,600,000	15,161,100	△ 5,438,900
インバウンド旅行商品販売(オーダーメイド含む)	4,000,000	0	△ 4,000,000
WEB運用業務	6,600,000	3,305,400	△ 3,294,600
魅力ある観光地域づくり促進事業	77,242,000	56,750,296	△ 20,491,704
国内旅行商品販売(オーダーメイド含む)	4,000,000	4,459,139	459,139
ネット販売予約サイト(体験プログラム)商品販売	2,400,000	2,008,139	△ 391,861
旅行商品販売受託	140,000	0	△ 140,000
奈良ファン倶楽部	3,274,000	3,355,508	81,508
奈良大和路カレンダー	6,428,000	7,007,855	579,855
アンテナショップ	49,000,000	39,919,655	△ 9,080,345
地域ネットワーク構築	12,000,000	0	△ 12,000,000
地域連携DMO推進事業	82,107,000	59,021,198	△ 23,085,802
JRキャンペーン連携	2,500,000	0	△ 2,500,000
奈良県観光キャンペーン連携	2,500,000	0	△ 2,500,000
旅行商品等販売営業活動	4,600,000	89,056	△ 4,510,944
奈良県観光情報サイト管理運営	4,818,000	4,822,200	4,200
商品企画支援	675,000	668,350	△ 6,650
全国広域観光振興支援	2,200,000	2,200,550	550
観光インフォメーションセンター運営支援	6,860,000	7,068,477	208,477
コンサルティング・受託業務	56,310,000	42,489,115	△ 13,820,885
各種行事への協賛	1,200,000	1,243,670	43,670
猿沢イン旅行カウンターサービス	444,000	439,780	△ 4,220
コンベンション誘致・開催支援事業	22,432,000	8,232,119	△ 14,199,881
コンベンション開催誘致支援事業	12,252,000	3,157,895	△ 9,094,105
国際コンベンション運営事業	9,820,000	4,712,704	△ 5,107,296
コンベンション関連団体連携	360,000	361,520	1,520
管理費	122,019,000	119,111,515	△ 2,907,485
人件費(奈良県補助)	93,019,000	90,460,129	△ 2,558,871
人件費(奈良市補助)	10,000,000	10,110,317	110,317
人件費	10,200,000	7,391,393	△ 2,808,607
管理費	8,800,000	11,149,676	2,349,676
事業活動支出合計	339,152,000	266,971,628	△ 72,180,372
事業活動収支差額	△ 1,289,000	1,247,880	2,536,880

令和3年度収支計算書
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	R3年度 予算	R3年度 決算	増減
Ⅱ. 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入	0	0	0
2. 投資活動支出	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
Ⅲ. 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
短期借入金	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
短期借入金弁済	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
Ⅲ. 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	△ 1,289,000	1,247,880	2,536,880
前期繰越収支差額	11,808,234	19,765,916	7,957,682
次期繰越収支差額	10,519,234	21,013,796	10,494,562

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、下記の科目を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

現 金
 普通預金
 郵便貯金
 未 収 金
 前 払 金
 立 替 金
 貯 蔵 品
 未 払 金
 前 受 金
 前 受 会 費
 預 り 金
 賞与引当金
 仮 受 金

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	前期末残高
現金預金		
現金	665,302	925,517
普通預金	39,603,277	38,878,497
郵便貯金	868,336	6,314,791
その他流動資産		
未収金	20,816,570	17,394,639
前払金	439,522	309,024
立替金	3,333,267	96,119
貯蔵品	82,728	109,255
流動資産合計	65,809,002	64,027,842
未払金	39,552,039	36,783,203
前受金	0	0
前受会費	1,434,000	2,274,000
預り金	159,189	169,607
賞与引当金	3,649,978	5,035,116
仮受金	0	0
流動負債合計	44,795,206	44,261,926
次期繰越収支差額	21,013,796	19,765,916

貸 借 対 照 表

令和 4年 3月31日現在

(単位 : 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	41,136,915	46,118,805	-4,981,890
未収金	20,816,570	17,394,639	3,421,931
前払金	439,522	309,024	130,498
立替金	3,333,267	96,119	3,237,148
貯蔵品	82,728	109,255	-26,527
商品	1,574,752	1,496,239	78,513
流動資産合計	67,383,754	65,524,081	1,859,673
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	200,000,000	200,000,000	0
定期預金	18,500,000	18,500,000	0
基本財産合計	218,500,000	218,500,000	0
(2) 特定資産			
(3) その他固定資産			
保証金	3,700,000	3,700,000	0
その他固定資産合計	3,700,000	3,700,000	0
固定資産合計	222,200,000	222,200,000	0
資産の部合計	289,583,754	287,724,081	1,859,673
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	39,552,039	36,783,203	2,768,836
前受会費	1,434,000	2,274,000	-840,000
預り金	159,189	169,607	-10,418
賞与引当金	3,649,978	5,035,116	-1,385,138
流動負債合計	44,795,206	44,261,926	533,280
2 固定負債			
負債の部合計	44,795,206	44,261,926	533,280
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	218,500,000	218,500,000	0
指定正味財産合計	218,500,000	218,500,000	0
(うち基本財産への充当額)	(218,500,000)	(218,500,000)	(0)
2 一般正味財産	26,288,548	24,962,155	1,326,393
正味財産の部合計	244,788,548	243,462,155	1,326,393
負債及び正味財産合計	289,583,754	287,724,081	1,859,673

正 味 財 産 増 減 計 算 書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,151,286	1,611,506	539,780
基本財産受取利息	2,151,286	1,611,506	539,780
受取会費	12,298,000	13,046,000	-748,000
正会員受取会費	9,559,000	10,148,000	-589,000
奈良ファン倶楽部会員受取会費	2,739,000	2,898,000	-159,000
事業収益	50,523,218	43,009,223	7,513,995
事業収益	1,357,277	28,272	1,329,005
講演会収益	10,000		10,000
レンタサイクル	1,212,000		1,212,000
諸口	135,277	28,272	107,005
奈良大和路カレンダー販売収益	8,513,520	8,931,256	-417,736
着地型旅行商品販売収益	7,259,720	5,651,412	1,608,308
国内企画旅行	4,608,250	3,200,689	1,407,561
手配手数料		474,199	-474,199
掲載手数料	11,685	4,530	7,155
体験プログラム	813,650	356,670	456,980
春日大社参拝旅行企画	1,784,815	1,615,324	169,491
諸口	41,320		41,320
奈良F C事業収益	231,200	804,000	-572,800
各種印刷物販売収益	78,000	106,550	-28,550
アンテナショップ販売収益	33,083,501	27,487,733	5,595,768
受取補助金等	121,389,484	107,762,577	13,626,907
受取国庫補助金	12,953,110	327,274	12,625,836
受取地方公共団体補助金	107,830,374	106,829,303	1,001,071
奈良県	107,830,374	106,829,303	1,001,071
受取民間補助金	606,000	606,000	
観光情報システム事業補助	50,000	50,000	
商工会議所補助金	556,000	556,000	
受取負担金	15,072,704	15,347,474	-274,770
受取負担金	15,072,704	15,347,474	-274,770
奈良市負担金	15,072,704	15,347,474	-274,770
受取寄付金	7,000	7,000	
受取寄付金	7,000	7,000	
事業受託収益	60,534,200	76,909,960	-16,375,760
事業受託収益	60,534,200	76,909,960	-16,375,760
受託収益	58,884,200	75,369,960	-16,485,760
猿沢イン旅行カウンター	1,650,000	1,540,000	110,000
雑収益	1,039,016	844,699	194,317
受取利息	106	52	54
受託販売手数料収益	792,002	551,108	240,894
雑収益	246,908	293,539	-46,631
経常収益計	263,014,908	258,538,439	4,476,469
(2) 経常費用			
事業費	255,743,439	245,567,549	10,175,890
旅行商品原価	4,402,382	2,862,003	1,540,379
体験プログラム原価	193,860	171,440	22,420
春日大社参拝旅行企画原価	1,550,916	1,539,124	11,792
仕入	26,001,937	22,034,758	3,967,179
給料手当	98,836,028	102,691,691	-3,855,663
賞与引当金繰入額	3,649,978	5,035,116	-1,385,138
福利厚生費	17,022,990	18,371,799	-1,348,809

正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
旅費交通費	2,119,159	1,011,486	1,107,673
通信運搬費	3,017,737	3,269,693	-251,956
消耗品費	1,139,922	2,663,938	-1,524,016
修繕費	1,801,362	2,040,057	-238,695
印刷製本費	1,101,376	789,348	312,028
新聞図書費	23,453	23,045	408
広告宣伝費	81,000	115,000	-34,000
誘致宣伝費	588,791	854,756	-265,965
燃料費	247,805	216,383	31,422
光熱水料費	7,908,687	7,371,229	537,458
賃借料	12,723,740	11,457,655	1,266,085
公用車(10%)	1,278,840	1,129,700	149,140
公用車(旧8%)	596,160	646,760	-50,600
電話機・複合機(10%)	1,142,742	1,142,706	36
電話機・複合機(旧8%)	857,952	596,483	261,469
パソコン(10%)	879,048	532,632	346,416
パソコン(旧8%)	1,365,268	803,844	561,424
保守料金		39,600	-39,600
家賃	2,151,820	2,313,090	-161,270
その他	4,319,910	4,252,840	67,070
諸口	132,000		132,000
保険料	499,258	416,385	82,873
諸謝金	333,312	326,034	7,278
租税公課	93,604	122,867	-29,263
支払負担金	3,285,250	3,202,000	83,250
支払補助金	755,000	760,000	-5,000
支払助成金	200,000		200,000
国内助成	200,000		200,000
支払寄付金	20,000		20,000
委託費	62,757,380	52,746,496	10,010,884
会議費	157,500	2,800	154,700
研修費	160,700	617,886	-457,186
支払手数料	3,304,900	2,813,003	491,897
カード手数料	79,934	27,419	52,515
カレンダー販売手数料	1,093,123	1,146,779	-53,656
雑費	562,873	829,461	-266,588
その他事業費	29,482	37,898	-8,416
管理費	11,078,676	9,582,852	1,495,824
福利厚生費	116,135	1,017,844	-901,709
会議費	195,600	213,000	-17,400
旅費交通費	820	16,040	-15,220
通信運搬費	385,177	475,774	-90,597
消耗品費	162,507	181,831	-19,324
印刷製本費	233,090	278,300	-45,210
新聞図書費	21,830	24,046	-2,216
燃料費	51,669	111,245	-59,576
光熱水料費	183,714	90,104	93,610
賃借料	905,642	2,538,137	-1,632,495
電話機・複合機(10%)	147,245	226,530	-79,285
電話機・複合機(旧8%)		348,299	-348,299
パソコン(10%)		501,498	-501,498
パソコン(旧8%)		640,872	-640,872
家賃	758,397	820,938	-62,541
諸謝金	2,007,793	940,619	1,067,174

正 味 財 産 増 減 計 算 書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
租税公課	5,540,490	654,080	4,886,410
支払負担金	258,000	207,780	50,220
委託費	792,148	2,445,303	-1,653,155
支払手数料	121,443	98,450	22,993
雑費	102,618	290,299	-187,681
経常費用計	266,822,115	255,150,401	11,671,714
評価損益等調整前当期経常増減額	-3,807,207	3,388,038	-7,195,245
評価損益等計			
当期経常増減額	-3,807,207	3,388,038	-7,195,245
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
雑収益	5,396,200	2,497,382	2,898,818
雑収益	5,396,200	2,497,382	2,898,818
経常外収益計	5,396,200	2,497,382	2,898,818
(2) 経常外費用			
過年度損益修正損	191,600		191,600
過年度損益修正損	191,600		191,600
経常外費用計	191,600		191,600
当期経常外増減額	5,204,600	2,497,382	2,707,218
税引前当期一般正味財産増減額	1,397,393	5,885,420	-4,488,027
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	
当期一般正味財産増減額	1,326,393	5,814,420	-4,488,027
一般正味財産期首残高	24,962,155	19,147,735	5,814,420
一般正味財産期末残高	26,288,548	24,962,155	1,326,393
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	218,500,000	218,500,000	
指定正味財産期末残高	218,500,000	218,500,000	
III 正味財産期末残高	244,788,548	243,462,155	1,326,393

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

購入時の取得価格。なお、取得価格と債権金額との差額については、重要性が乏しい場合は、債券金額

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法

(3) 固定資産の減価償却の方法

該当なし

(4) 引当金の計上基準

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当期に属する金額を計上。

(5) 消費税等の会計処理

消費税および地方消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次の通りである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
利付国庫債券	100,000,000	0	0	100,000,000
利付社債券	100,000,000	0	0	100,000,000
定期預金	18,500,000	0	0	18,500,000
小 計	218,500,000	0	0	218,500,000
合 計	218,500,000	0	0	218,500,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
利付国庫債券	100,000,000	(100,000,000)	0	0
利付社債券	100,000,000	(100,000,000)	0	0
定期預金	18,500,000	(18,500,000)	0	0
小 計	218,500,000	(218,500,000)	0	0
合 計	218,500,000	(218,500,000)	0	0

4. 担保に供している資産

担保物件なし

5. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

保証債務なし

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
利付国債（20年）第121回	100,000,000	114,590,000	14,590,000
東京電力パワーグリッド社債（6年）第41回	100,000,000	100,840,000	840,000
合 計	200,000,000	215,430,000	15,430,000

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金名称 (契約・事業等名称)	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表 上の記載区分
令和3年度訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金	観光庁	0	7,580,000	7,580,000	0	—
令和3年度観光振興事業費補助金	観光庁	0	5,373,110	5,373,110	0	—
一般財団法人奈良県ビジターズビューロー人件費補助金	奈良県	0	93,019,000	90,460,129	2,558,871	流動負債
一般財団法人奈良県ビジターズビューロー事業費補助金	奈良県	0	26,471,000	17,370,245	9,100,755	流動負債
(奈良県観光情報サイト管理運営事業)		0	4,818,000	4,818,000	0	—
(商品企画支援事業)		0	675,000	668,350	6,650	流動負債
(コンベンション開催誘致支援事業)		0	12,252,000	3,157,895	9,094,105	流動負債
(全国広域観光振興支援事業)		0	2,200,000	2,200,000	0	—
(奈良県観光インフォメーションセンター運営事業)		0	6,526,000	6,526,000	0	—
奈良商工会議所補助金	奈良商工会議所	0	556,000	556,000	0	—
観光情報システム事業補助金	日本観光振興協会	0	50,000	50,000	0	—
合計		0	133,049,110	121,389,484	11,659,626	流動負債

9. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は以下の通りである。

種類	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容又は職業	議決権の所有の割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員の兼務等	事業上の関係				
支配法人	奈良県	奈良市登大路30	—	地方公共団体	—	—	補助金の受取	受取補助金	119,490,000	未払金	11,659,526

財 産 目 録

令和 4年 3月31日 現在

(単位 : 円)

貸借対照表科目		金額
(流動資産)		
	現金預金	41,136,915
	現金	665,302
	普通預金	39,603,277
	郵便貯金	868,336
	未収金	20,816,570
	前払金	439,522
	立替金	3,333,267
	貯蔵品	82,728
	商品	1,574,752
流動資産合計		67,383,754
(固定資産)		
基本財産	投資有価証券	200,000,000
	定期預金	18,500,000
特定資産		
その他固定資産	保証金	3,700,000
固定資産合計		222,200,000
資産合計		289,583,754
(流動負債)		
	未払金	39,552,039
	前受会費	1,434,000
	預り金	159,189
	賞与引当金	3,649,978
流動負債合計		44,795,206
(固定負債)		
固定負債合計		
負債合計		44,795,206
正味財産		244,788,548

監 査 報 告 書

令和3年度一般財団法人奈良県ビジターズビューローの監査をした結果について、下記のとおり報告します。

記

1. 監査方針及び実施方法

令和2年度監査に係る令和3年5月21日付け監査報告書における指摘状況及び当法人が作成したプログレスレポートに記載された改善策の進捗状況を踏まえ、令和3年度の監査に当たっては、監事監査補助員を選任するなど、令和2年度監査に準じる体制で監査を実施すべきであることを監事の協議により決定しました。

この方針に従い、令和4年5月16日、17日の2日間、2名の監事及び8名の監事監査補助員が、当法人において令和3年度に係る事業報告書及び財務諸表をはじめ重要な決裁書類・会計書類等を閲覧したり、法人の作成したプログレスレポートに記載された改善策の進捗状況について確認したりするとともに、事務局から状況を聴取しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、いずれも当法人の状況を正しく示されているものと認めます。

(2) 法人の作成したプログレスレポートに記載された改善策をはじめ、その他の会計事務全般にわたり、法人としての取組成果が認められます。ただし、以下に示す事項も見受けられることから、引き続き規程等を遵守し改善に向けた取組を継続されるよう申し添えます。

① 文書による決裁から文書総合管理システムによる決裁に改めるに当たり、規程等の改正前から文書総合管理システムによる決裁のみで支出等を行っていた。

② 正味財産増減計算書や収支計算書の科目のうち、会計処理規程第4条で定める勘定科目との不一致が認められた。

③ コンプライアンスへの取組みについて、活動記録の一部未作成及び不在者へのフォローが不十分なところが見受けられた。

以 上

令和4年5月23日

監事

芝池 多津子



監事

島中 幸治



奈良県ビジターズビューロー役員名簿

令和4年6月2日現在

役職	氏 名	組織名	役職名
理事長	荒井 正吾	奈良県	奈良県知事
副理事長	仲川 げん	奈良市	奈良市長
副理事長	小山 新造	奈良商工会議所	会頭
副理事長	福井 義尚	奈良県ビジターズビューロー	副理事長
専務理事	中西 康博	奈良県ビジターズビューロー	専務理事
理事	上司 永照	東大寺	執事長
理事	西村 泰宏	春日大社	祭儀部長 禰宜
理事	川俣 海淳	長谷寺	寺務長
理事	五條 永教	金峯山寺	執行長
理事	乾 昌弘	株式会社明新社	代表取締役社長
理事	朝廣 佳子	株式会社読売奈良ライフ	代表取締役社長
理事	佐野 純子	奈良インターカルチャー	代表
理事	川端 規央	大和まちづくりネットワーク	代表
理事	松田 大祐	西日本旅客鉄道株式会社 鉄道本部 近畿営業部	担当課長
理事	佃 侑彦郎	近畿日本鉄道株式会社 鉄道本部	企画統括部 営業企画部長
理事	森島 和洋	奈良交通株式会社	取締役社長
理事	古澤 秀明	東海旅客鉄道株式会社 広報部 東京広報室	室長
理事	増田 友宏	奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合	理事長
理事	下谷 幸司	奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合	奈良支部長/副理事長
理事	山本 義史	奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合	吉野山支部長/副理事長
理事	近浪 弘武	日本コンベンションサービス株式会社	代表取締役社長
理事	鎌倉 直之	株式会社JTB 奈良支店	支店長
理事	安武 茂雄	近畿日本ツーリスト株式会社 奈良支店	支店長
理事	亀田 忠彦	橿原市	橿原市長
理事	中井 章太	吉野町	吉野町長
監事	畠中 幸治	株式会社南都銀行	理事 地域事業創造部長
監事	芝池 多津子	奈良県	会計管理者

奈良県ビジターズビューロー評議員名簿

令和4年6月2日現在

役職	氏 名	組織名	役職名
評議員	峯山 巧誉	奈良大和四寺巡礼の会	代表代行
評議員	常盤 勝範	壺阪寺	住職
評議員	森 正光	石上神宮	宮司
評議員	田中 篤則	株式会社奈良新聞	代表取締役社長
評議員	山下 徳子	NHK奈良放送局	局長
評議員	長岡 雅美	奈良テレビ放送株式会社	代表取締役社長
評議員	佐藤 伊左男	一般社団法人 奈良青年会議所	理事長
評議員	村本 佳宜	奈良県農業協同組合	代表理事、理事長
評議員	平田 千江子	奈良県	観光局長
評議員	仲西 範嘉	奈良市	観光経済部長
評議員	岸本 裕史	橿原市	魅力創造部長
評議員	和田 圭史	吉野町	副町長